

天然の木と 漆喰が作る、 安らぎの我が家

季節ごとに表情を変える天然の木は、
汚れや傷も、良い味になる。
それが家族の歴史になる。
本物の木の家は、
ここちよさも、本物だね。

三角の大屋根と真っ白い漆喰の壁。そして、広々としたウッドデッキ。まるで童話から飛び出してきたような可愛らしさのA様邸。

恋い焦がれた“三角屋根の家”

「三角屋根の家に住みたいんですけれど…」。
A様ご夫妻が北杜市の浅川建工を訪ねたのは、
もう2年ほど前になる。

「実は、僕たちはログハウスに憧れていて、ずいぶん前から調べたり、実際に見に行ったりしていたんです。知れば知るほどログハウスは素敵でしたが、反面、四季のある日本の市街地で、子ども達と共に日常生活を送るには、いろいろと都合があることも分かってきました」。さらに、その過程で調湿作用や消臭作用など、漆喰の優れた機能を知り、伊豆の漆喰博物館にも行ってみたというお二人。「漆喰って落ち着くよね。木と漆喰で、ログハウスみたいな家が作れないかいいよなって、どちらからともなく話すようになりました。それで、木と漆喰でできた三角屋根のシンプルな家を建てようってことになったんです」。ところが、お二人が望む家を建ててくれるパートナーが、なかなか見つからない。県外も含め、いくつもの会社を訪ねたというお二人。そのなかに、浅川建工もあったという。「浅川さんは、僕らの話を聞くなり、だったらこの家は どうですか？と一つのプランを見せてくれた。後で聞いたら、社長が長年温めていた家の設計図だったそうですが、それは見事なまでに僕らの欲しい家そのものだった」。まさか県内で、夢を実現してくれる会社と巡り会えるなんて！と手を取り合っただけで喜んだというお二人。「この家は、シンプルだからこそ、ごまかしがきかない。中途半端は嫌だからと、妥協しないで求め続ける僕らを、浅川さんは正面から受け止め、応えてくれた。パーフェクトな家づくりだったと心から感謝しています」。



天井や床はもちろん、窓枠、ドア、扉、階段、カウンターまで、すべてに天然の無垢材を使用。漆喰の壁やリビングの奥の和室など、日本の風土にも合っている。



夏は涼しく、冬は暖かい楽園
伸びやかに笑う子ども達。
それは見事なまでに
僕らの欲しい家そのもの



私たちが提案するのは、天然木や漆喰など、本物の素材へのこだわりと、伝統的な知恵と現代の技術に裏打ちされた、オンリーワンの家づくり。信頼されるパートナーとして、設計、施工、メンテナンス、リフォームまで最善のご提案を致します。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



有限会社 浅川建工
代表取締役 浅川 重直

<http://www.a-kenko.jp/>
E-mail : info@a-kenko.jp

〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出2284-2
TEL : 0551-38-0165 FAX : 0551-38-0467



CHECK POINT

厚みのある大屋根

大屋根の厚みはざっと20cm。この厚さが、太陽光の熱を遮断し、快適な室内環境を守ってくれている。



- ①日差しや雨風から家を守ってくれる深い庇
- ②地震に強いウインウッド耐震工法
- ③吹き抜けの天井に向かって伸びる階段
- ④約90cmもある軒下が、家を湿気から守り、断熱効果を高めてくれるとともに、配管やメンテナンスも容易にしてくれる。
- ⑤玄関灯には、イカ釣り漁船で使われているランプを使用。素朴な感じが家の雰囲気ととてもマッチしている。



HOUSE DATA

- 所在地 笛吹市
- 家族構成 夫婦、子供2人
- 間取り 4LDK
- 竣工 2011年8月

甲府盆地の真ん中で、“田舎暮らし”を満喫
まるで森林浴をしているかのような気持ち良さのなか、日々の家事までが楽しくなったという奥様。一方、ご主人のお気に入りはウッドデッキ。仕事から帰ると、一服しながら1時間ほどを過ごすという。「春はきれいなピンク色に染まった周囲の桃畑を眺め、秋冬は夜空を見上げて星を数える。こういう時間が持てるのも、この家のおかげなんですよね。気持ちにゆとりが生まれ、家族の団らんも、日々の暮らしも、益々楽しめるようになりまして」。そう語るご主人の両脇で、伸びやかに笑う子ども達。キラキラとした表情が、この家の素晴らしいさを何よりも雄弁に語っていた。



「入居して1年以上になりますが、エアコンは設置していません。というのも、真夏でも家の中はひんやりしているし、冬はリビングでダルマストーブを一つ焚くだけで家全体が温まるから、必要がないんです。ちなみに、オール電化にもかかわらず、我が家の電気代は毎月7〜8000円程度。特に節約しているわけではないので、やっぱり家の力だなあと感じます。」とこやかな奥様。ご主人も、「この家を建て始めた頃、東日本大震災が起こりました。それで、急に心配になって社長に聞いてみたくて。そうしたら、『この家の耐震等級は3。その上、三角の屋根が筋交い代わりになってきつちりと固めてられていますし、地震の際には、家では標準装備する制震装置もきちんと機能してくれそうですから、ほとんど揺れは感じないでしょう。ほぼ無敵だと言えると思いますよ』とニヤリと笑うんです。その表情を見て、ああ、本当に大丈夫だと安心しました。この家で暮らし始めてからも、小さくさまざまな地震が頻りに起き続けているが、「大きな揺れを感じたり、驚いたりしたことは一度もありませんね」と笑顔を見せる。



2階は屋根勾配を利用し、屋根裏部屋の雰囲気に。屋根と床の間に壁を設けることで、十分な高さが確保でき、部屋全体に解放感が生まれた。

毎月の電気代は、7〜8000円!!
光や風を活用し、快適な暮らしを実現。